

2009/09/09

# 景気判断、改善足踏み

## 景気がわかる

### 月例報告、雇用悪化に懸念 天候不順やインフル影響 消費に暗雲

月例経済報告の判断 (前月報告と比べ、△は上方修正、▽は下方修正)	
個人消費	このところ持ち直しの動き
輸出	持ち直している
生産	持ち直している
企業収益	大幅な減少が続いているがテンポは緩やかに
設備投資	減少している
雇用	一段と厳しさを増している

改善傾向にあった「景気判断」に一服感が出てきた。政府は8日発表の9月の月例経済報告で「雇用の一層の悪化が懸念される」と指摘し、景気判断を2カ月連続で据え置いた。内閣府が同日発表した8月の「街角景気」も判断指数が8カ月ぶりに低下。失業率が悪化しているうえ、天候不順や新型インフルエンザの影響による個人消費の冷え込みが大きな懸念となっている。

■景気は「持ち直しの動き」だが……月例経済報告は5月から3カ月連続で上方修正し、6月には「景気底打ち」も宣言した。生産や輸出が持直し、4～6月期の実質国内総生産(GDP)が5四半期ぶりにプラス成長に転じたため。ただその後も雇用情勢の悪化が続き、7月の完全失業率は過去最悪の5・7%に達した。9月の月例報告の基調言した。生産や輸出が持直し、4～6月期の実質国内総生産(GDP)が5四半期ぶりにプラス成長に転じたため。ただその後も雇用情勢の悪化が続き、7月の完全失業率は過去最悪の5・7%に達した。9月の月例報告の基調

が過去最高水準となるなどとの表現を加えて雇用情勢に懸念を表明。先

行きについても「一層の悪化が懸念される」と強調戒感を示した。

■失業率6%に迫ると判断は「厳しい状況にあり、このところ持ち直しの動きがみられる」と



街角景気の主なコメント	
(□は不变、▲はやや悪、×は悪)	
現状	□ 近畿の観光型旅館 天候が悪く海水浴の客が減っている
▲	北関東の窯業・土石製品製造業 考えられないような価格を提示する会社が出ている
×	中国の商店街 豪雨による道路の復旧が進まず近隣からの来店がない
□	北陸の乗用車販売店 ハイブリッド車の受注に若干の陰り
先行き	□ 東北の建設業 政権交代後、公共投資が見直されるため先行きが不透明
▲	沖縄のレンタカー 新型インフルで9月連休のキャンセルがかなり出ている

8カ月ぶりに低下した。小売りや飲食店など家計関連部門は1・1%の下落。天候不順で夏物衣料の動きが低迷、「新型インフルの流行などで旅行が変更や中止になるケースが続発」(北陸の旅行会

社)といった指摘が多い。定額給付金などの効果も薄れたとみられ、最終的には力強さを欠く。企業部門でも「提示される価格が低く受けべきか非常に悩ましい」(東海の金属製品製造業)との声が広がっている。内閣府が小売店主やタクシー運転手ら約2千人に聞いた8月の景気ウォッチャー調査では、景気の実感を示す「街角景気」の現状判断指数が前月よりも0・7点低い41・7。8カ月ぶりに低下した。衣料品専門店、「新型インフルの流行などで旅行が変更や中止になるケー

スは不透明になる」(東北の建設業)との声があつたほか、「ハイブリッド車の受注に陰りが出てきた」(北陸の乗用車販売店)との指摘も。

国内景気は7～9月期は不透明になる」(東北の建設業)との声があつたほか、「ハイブリッド車の受注に陰りが出てきた」(北陸の乗用車販売店)との指摘も。

は不透明になる」(東北の建設業)との声があつたほか、「ハイブリッド車の受注に陰りが出てきた」(北陸の乗用車販売店)との指摘も。

は不透明になる」(東北の建設業)との声があつたほか、「ハイブリッド車の受注に陰りが出てきた」(北陸の乗用車販売店)との指摘も。